

令和6年度逆井小教育活動のアンケート（学校評価アンケート）の結果について

I 目的

- (1) 学校が自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。
- (2) 学校が自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表により、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。

II 実施日

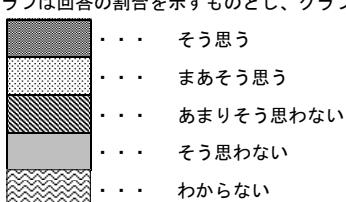
児童 12/9（月）～17日（火）
保護者 12/6（金）～23日（月）
教職員 1/10（金）～21日（火）

III 回収率

児童 270名/288名 93.7%
保護者 220名/288名 78.5%

IV 回答と結果について

- 質問に対しての回答は「そう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」の5択とし、児童は質問に対して、保護者は「お子さんは」もしくは「学校は」など、教職員は「児童は」もしくは「私は」などと主語を置き換えた質問に回答する。
- 別紙のグラフは回答の割合を示すものとし、グラフの色のパターンは以下のとおりである。

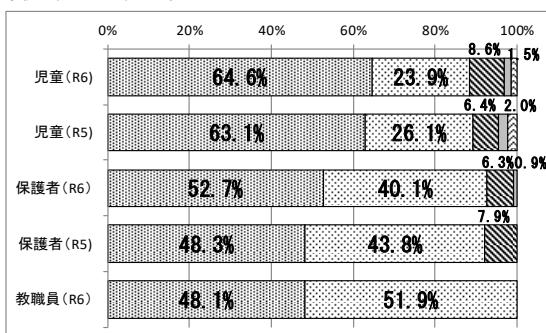


- 「そう思う」「まあそう思う」を肯定的な回答、「あまりそう思わない」「思わない」を否定的な回答として考察する。

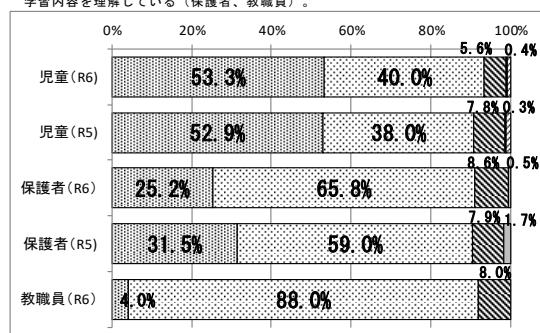
V 結果

学校教育目標「自分で考え、判断し、行動する逆井っ子の育成」

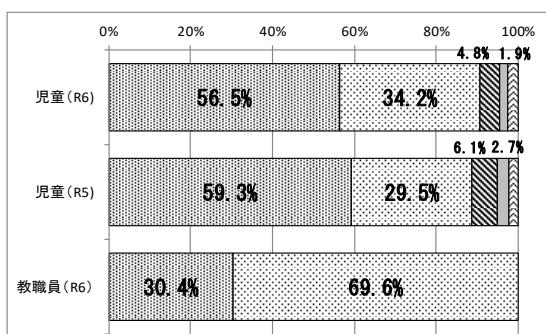
1. 学校に行くのは楽しい。



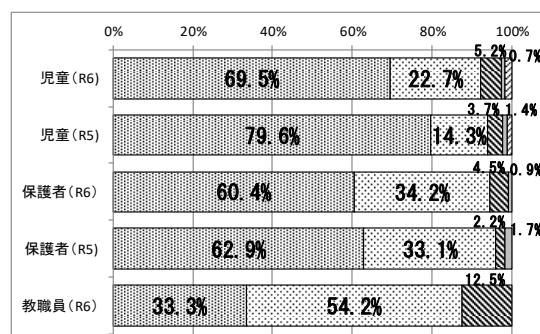
2. 学校の勉強はよくわかる（児童）。学習内容を理解している（保護者、教職員）。



3. 授業に意欲的に参加している。

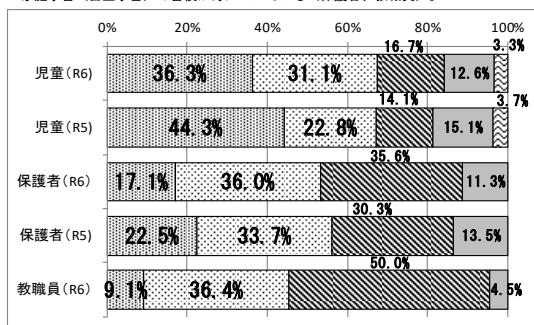


4. 宿題は必ずやっている。

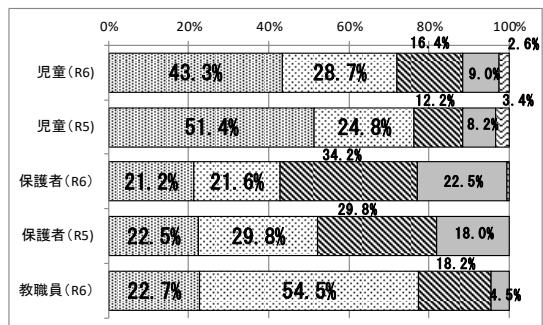


5. 家では宿題以外の勉強もしている（児童）。

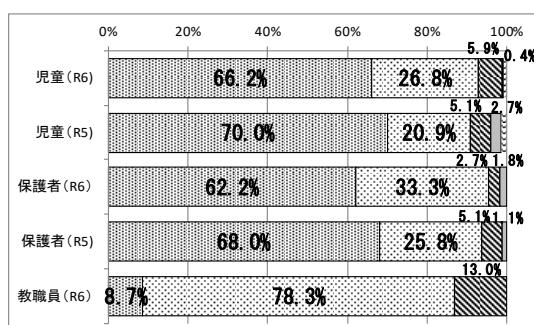
家庭学習（自主学習）の習慣が身についている（保護者、教職員）。



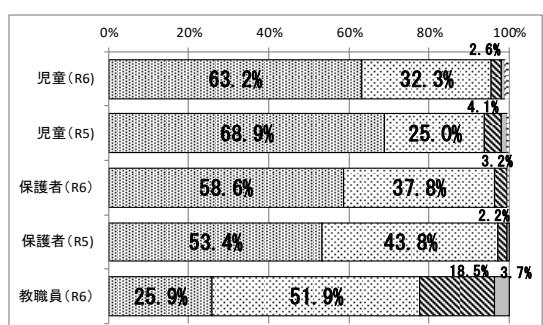
6. 本を読むのが好きである。



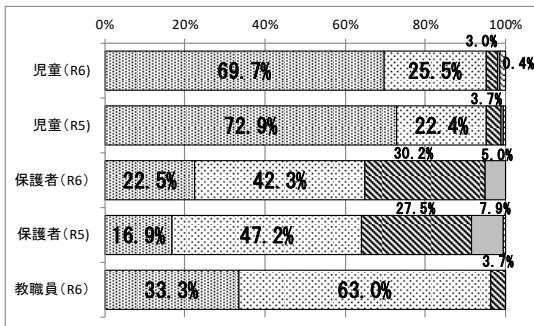
7. 朝ごはんを食べてから登校するなど、毎日規則正しい生活をしている。



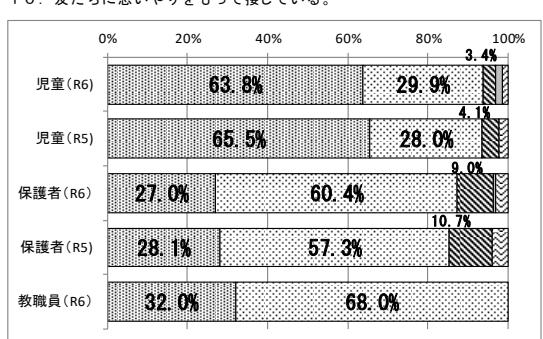
8. 先生や友だち、地域の人に進んであいさつしている。



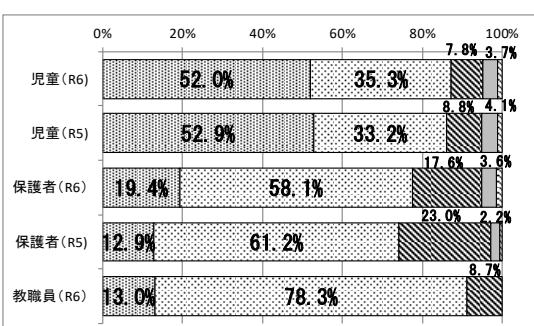
9. 掃除や係、日直や給食当番などの自分の仕事はきちんとやっている（児童、教職員）。お子さんは、家の手伝い等を進んで行っている（保護者）。



10. 友だちに思いやりをもって接している。

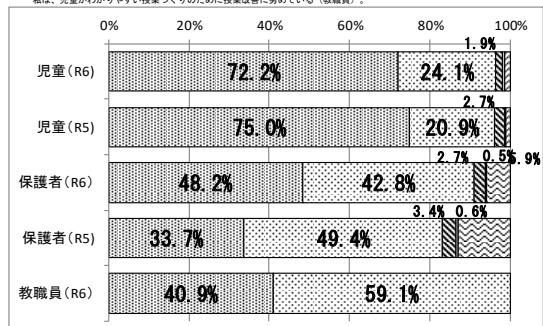


11. 苦手なことやいやなことがあってもあきらめずに最後までがんばれる。

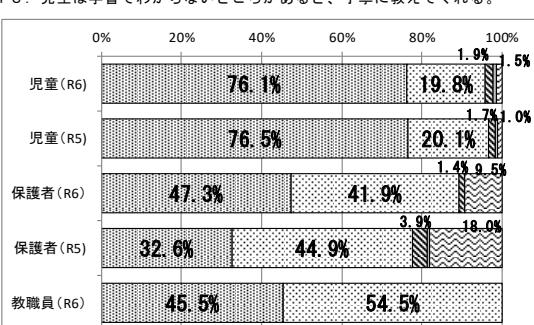


12. 先生はわかりやすい授業を行ってくれる（児童、保護者）。

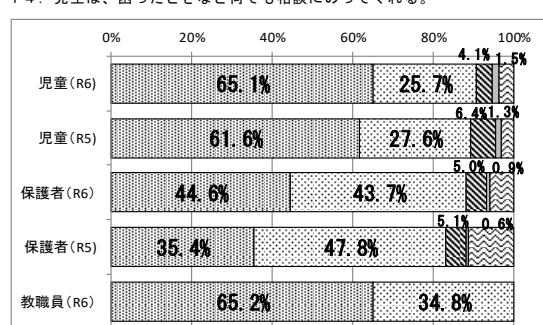
私は、児童がわかりやすい授業づくりのために授業改善に努めている（教職員）。



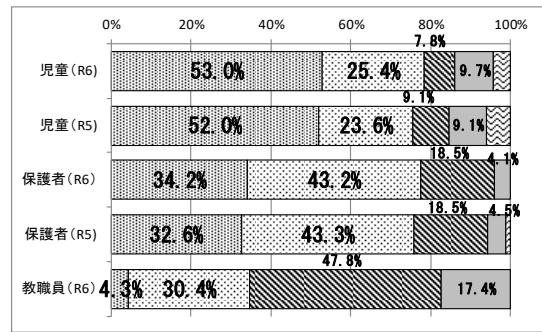
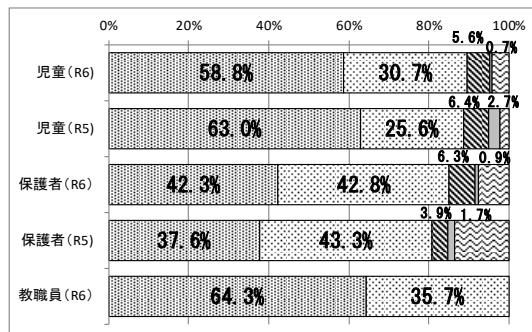
13. 先生は学習でわからないところがあると、丁寧に教えてくれる。



14. 先生は、困ったときなど何でも相談にのってくれる。



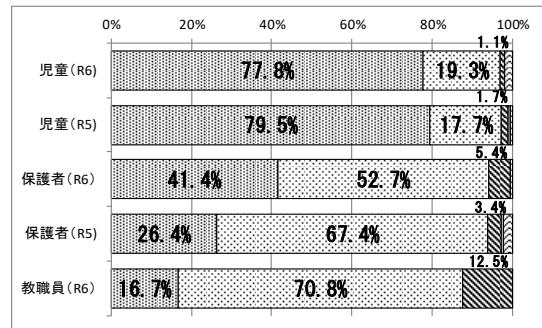
15. 担任の先生だけでなく色々な先生が教えてくれたり、相談にのってくれたりしている。 16. テレビやゲームの時間は親子で話し合って決めている。



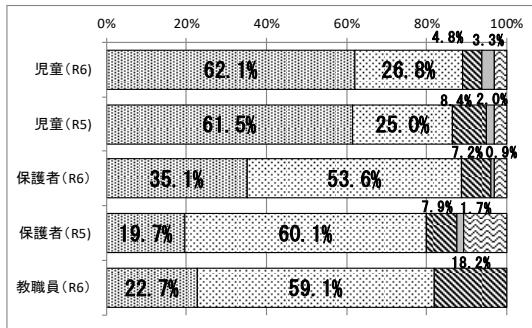
17. 家の人に学校であったことや友だちのことなど、よく話をしている。



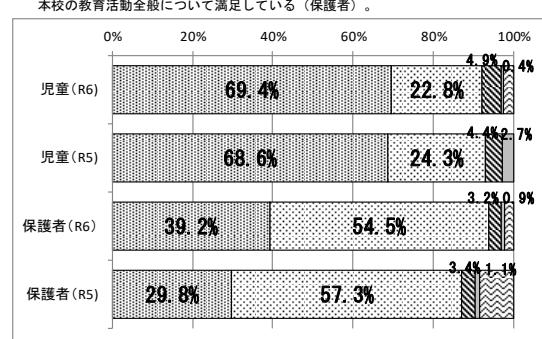
18. 交通ルールやきまりを守ってすごいしている。



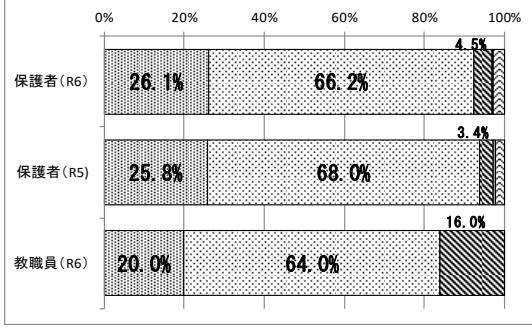
19. 先生は、タブレット(i-Pad)を使った授業を行っている。



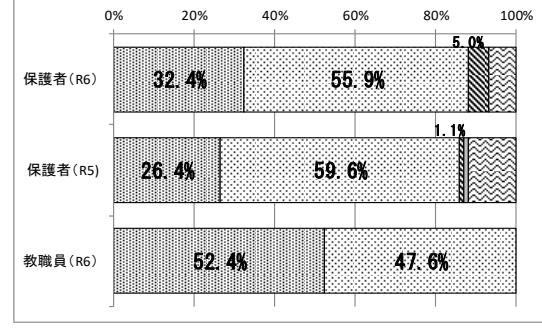
20. 逆井小学校での生活に満足している(児童)。



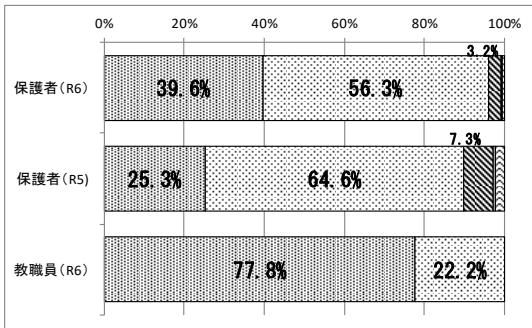
21. 家庭では、学校の教育活動に協力するようしている(保護者)。
家庭は、学校の教育活動に協力的だ(教職員)。



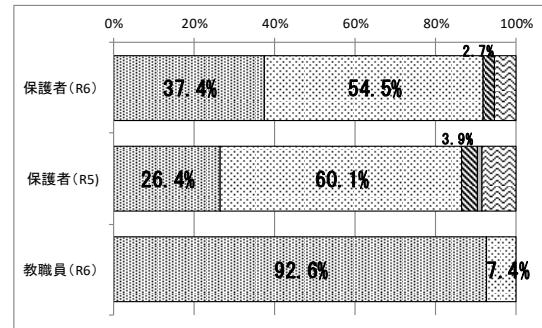
22. 学校は、子ども一人一人を大切に指導している(保護者)。
児童一人一人の思いを大切にした学年・学級経営を行っている(教職員)。



23. 学校はHPやメール・学校だより等で教育活動をわかりやすく伝えている。



24. 学校は、地域・保護者・学校運営協議会(近畿スマイル)と連携して教育活動を行っている。



25. 本校をより良くするための意見について（一部となります。ご了承ください）

学習に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> 少人数の利点を生かして子どもが学ぶことが楽しくなるような学習をしてほしいです。 6時間授業が増えて帰りが遅く、友達と遊ぶ時間が少なくなっています。 英語に触れる機会がたくさんあるとよいと思います（同意見あり）。 障害福祉の学習や、他の学年との交流学習を行ってほしいです。
子どもに 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ほめて楽しく過ごせるように先生方がクラスの中で笑顔で子どもたちを見守ってほしいです。 言われている本人がいじめだと思ったら、いじめになることをもう一度周知してほしいです。 放課後に図書室等で預かりのような仕組みができたらしいなと思います。
行事等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> 夏にプールに入る機会がないので、学校のプールはもう使用できないのでしょうか。 クラス替えが年に1回になったらよいなと思いました（同意見あり）。 行事やスケジュールの詰め込みすぎで、先生、児童、保護者の負担になっていないのかが気になります。 親子が一緒にかかわる行事や活動がたくさんあるとよいと思います。 高校が近くにあるのでイベントなどで交流してもよいと思います。
校庭に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> 放課後や休日の校庭で子どもたちが遊べたらよいなと思います（同意見あり）。 遊具が増えると子どもたちもうれしくなると思います（同意見あり）。
PTA・地域 に関するこ	<ul style="list-style-type: none"> Sigfyで手紙を見返すときなどにもう少し見やすくなるとよいと思います（Sigfyの改善に関する類似意見あり）。 PTAを任意にしてほしいです（類似意見あり）。 もっと多くの保護者がボランティアに参加するとよいと思います（同意見あり）。

VI 結果からの考察

- 質問1「学校に行くのは楽しい」の回答から、概ね子どもたちは学校に行くことを楽しみにしています。一方で、そう思ってはいない子どもが昨年度より若干増えて10%います。
- 質問4と5の回答から、子どもたちに宿題を行う習慣は身についていますが、家庭学習（自主学習）の習慣の定着までは至っていないことがわかります。
- 質問8「先生や友だち、地域の人に進んであいさつしている」の回答から、子どもたちの約95%がしっかり挨拶しており、保護者や教職員もその姿を肯定的に捉えていることがわかります。
- 質問13と14の回答から、多くの子どもたちは、先生はわからないことを丁寧に教えてくれたり、何でも相談にのってくれたりしていると考えています。
- 質問20「逆井小学校での生活に満足している」の回答から、子どもたちも保護者も、概ね逆井小学校での生活に満足していることがわかります。一方で昨年度よりは減少しましたが、そう思っていない子どもや保護者も一定の割合でいることがわかります。
- 昨年度に引き続き、質問21と24の学校、家庭、地域の連携に関する回答から、多くの保護者が、逆井小学校は地域、家庭と連携しながら教育活動を推進していると考えていることがわかります。
- 質問23「教育活動をわかりやすく伝えている」の回答から、昨年度よりHPやメール・学校により等で教育活動をわかりやすく伝えていると肯定的に捉えている回答が増えています。

VII 学校運営協議会委員からのご意見

- 児童も保護者も概ね学校教育活動について好意的であることがとても喜ばしいことだと思います。私自身が逆小スマイルとして活動する際、児童の様子を見ていてもとても明るく元気で前向きな印象です。
- 学校に来るのが「楽しい」という回答が多いのはとても良いことだと思います。その中で、そう思っていない児童が一定数いることについて、今後も「なぜ」を知るための努力が必要だと感じます。
- 質問5と16から、家庭での過ごし方について少し見直すことができれば学校での学習の定着率向上につながるのではないかと感じました。
- 質問10の教職員の回答や12の児童、保護者の回答から教職員と児童、保護者との信頼関係が成り立っているとともに、逆井小学校児童の素直さややさしさが表れているような気がしました。
- 質問12と13の子どもたちの回答結果は、先生たちの努力の成果だと思います。
- 質問2の回答から子どもたちは学校の勉強はわかっているようです。きちんと身に付けさせる、理解させることも大切だと思います。
- 保護者より「もっと多くの保護者がボランティアに参加すると良いと思う」というコメントがあり、とてもうれしく思いました。できる人ができることをやるという形で多くの人が学校にかかり、地域と保護者と学校と一緒に児童の成長を見守れたらと思います。

VIII 今後の取組について

逆井小学校の子どもたちは昨年度に引き続き「学校に行くことを楽しみ」にしており、「逆井小学校での生活に満足している」ことがわかりました。一方で「そう思わない」子どもたちもいます。学校教育目標「自分で考え、判断し、行動する逆井っ子の育成」の具現化を目指して引き続き、これまでどおり逆井小学校の教育活動を推進するとともに、一人一人の子どもたちの小さな変化を見逃さないよう、担任を始め、学校の全教職員で逆井小学校の子どもたちを見るという意識をさらに高めています。

多くの子どもたちは「先生はわからないところを丁寧に教えてくれる、困ったときに相談に乗ってくれる」と考えています。引き続き、教職員一丸となってわかりやすい授業づくりに努めるとともに、子どもたちに寄り添いながら、確かな知識・技能を定着させ、それらを使って思考・判断・表現できるようにしていきます。

挨拶の励行、交通安全への意識の高揚などの生活習慣の定着に向けては、家庭・地域と連携しながら進めていく必要があります。今後も、学校によりやホームページなどを使って学校の情報を発信していきたいと考えます。

今回のアンケートでいただいた意見につきましては、学校内で検討し、でき得るものは来年度以降に取り入れていきたいと考えます。アンケートにご協力いただきありがとうございました。